



ハチドリの一としずく

ハチドリの一としずく～今私にできること～という短いお話をしました。

～今年最後の校長講話から～

右に物語全文を掲載しました。

南米エクアドルに伝わる小さなハチドリのお話をご存知ですか？山火事でほかの大きな動物たちが我先にと逃げ出す中、たった一羽でその小さなくちばしで水滴を運んで消火活動に励むハチドリのクリキンディ。「そんなことをして何になる？」と笑う動物たちにクリキンディはこう返事をしました。「私は、私にできることをしているだけ」。

クリキンディは、ハチドリという小さな体ながら大きな勇気を持っているように感じます。他の動物は、臆病で自分のことだけを考えているように思えます。でも、動物たちが火を消そうともせずに逃げ出してしまった本当の理由は何だったのでしょうか。もしかしたら、大きな体で力持ちのクマは幼い子グマを守るために避難したのかもしれない。足の速いジャガーは後ろ足を使って火に砂をかけることに気付かなかっただけかもしれません。雨を呼ぶことのできる《雨降り鳥》は自分たちの降らせる雨が火を消すことができることを知らなかったのかもしれない。

「私は、私にできることをしているだけ」といっているクリキンディは伝えてくれているのです。それは他の人を非難したり、怒ったりねたんだりする暇があったら自分のできること、自分にもできることを淡々とやっていこうよと。4月から皆さんも自分がやろうと決めたことを黙々と取り組み、自分ができていることに黙々と取り組んできましたか。できないことをまわりのひとのせいにしたり自分の都合の良い理由をつけてやらなかったことはありませんか。

今年の学校生活は今日で終わり、冬休みに入ります。

今日、朝会で校長講話を行いました。その中で、「ハチド

「ハチドリの一としずく～今私にできること～」

森が燃えていました

森の生きものたちは われ先にと 逃げて いました

でもクリキンディという名の

ハチドリだけは いったりきたり

くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは

火の上に落としていきます

動物たちがそれを見て

「そんなことをして いったい何になるんだ」

と 笑います

クリキンディはこう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」

出典：「ハチドリの一としずく」 辻 信一監修 光文社刊 2005年

さらにクリキンディは教えてくれています。自分にとってあまりに大きな問題や壁にぶつかった時、あきらめたりやる気をなくしてしまうことがあります。どんな困難なことでもまた困難な中にも私たち一人ひとりには「できること」が必ずあるのだよと。私たち一人ひとは、小さなハチドリのように力にすぎませんが、「わたしたちにできること」について考え、行動し、それを積み重ねていくことができるとしたら燃えている森の「火」を消す力にだってなれるかもしれません。朝会でもその後については考えていません。さて、この物語の中のあの森はその後どうなったでしょう。燃えつきてなくなってしまったのでしょうか。それとも・・・この物語の続きは、ご家庭でお子さんと考えてみてください

年末年始の冬休みの過ごし方



家庭学習の習慣化

冬休みの課題が出されていますので、ゲームをしたりDVDを見たりすることが多くなりがちな時期ですが、「学びの習慣化」を図るために、目安を参考にさせていただき毎日の家庭学習と読書をさせてください。

年末 家の手伝いをさせてください

年末は、新しい年を迎える時節です。どの家庭においても、家の内外の大そうじが行われます。

学校でも毎日掃除が行われています。働くことで認められたり、やり遂げたりすることで、働くうれしさややりがい、自分の成長を感じるようになります。その意味からも年末のこの時期は、絶好の機会です。

お正月には書き初めをさせてください

全学年で書き初めの課題が出ています。

冬休み明けには、1・2年生は硬筆で3年生から6年生までは毛筆で「書き初め」を行います。書き初めの作品は、掲示する予定です。学校に越しの際は、ご覧ください。



寒くても体を動かして体力づくり

冬休みは、寒い日が続きます。暖かい部屋でたづつに入って過ごす日があると思います。学校の運動

場も開放していますので、外で遊ぶ、運動するようにさせてください。12月29日から1月3日までは、運動場の利用団体が入っていませんので、終日遊べます。ただし、年末年始は、学校には日直がいまないので、ご承知ください。

事故やけがない安全・安心な冬休みを過ごさせてください

学校は、授業で学び、体験で育つ場です。秋から冬にかけて6年生陸上記録会、2・3・4・5年生市音楽会、4・5年生は内山剣舞踊り、各学年校外学習、学習発表会、全校ハイキングなど行事が続きました。そのなかで、子どもたちは人との関わりや集団の力をつけて人として一回り大きくなったと感じます。明日からの冬休みは、「学びの継続」という視点から、年末年始でせわしい時期ではありますが、朝会でも冬休みの過ごし方について子どもたちに伝えましたので、充実した冬休みをお過ごしください。

本年は、本校の教育活動にご理解・ご協力いただき有り難うございました。明年も引き続きよろしく願いいたします。よいお年をお迎えください。